

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成27年6月25日 (2015.6.25)

【公開番号】特開2012-251241 (P2012-251241A)

【公開日】平成24年12月20日 (2012.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2012-054

【出願番号】特願2012-109710 (P2012-109710)

【国際特許分類】

C 2 3 C 18/08 (2006.01)

B 2 2 F 9/24 (2006.01)

【F I】

C 2 3 C 18/08

B 2 2 F 9/24 F

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月11日 (2015.5.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

パラジウム塩、オルガノアミン、および水不混和性の有機溶媒を含むパラジウム前駆体組成物であって、

前記パラジウム塩が炭酸パラジウムであり、

前記オルガノアミンがオクチルアミン、ノニルアミン、又はデシルアミンであり、

前記パラジウム塩が前記パラジウム前駆体組成物に対して 5 重量% ~ 30 重量% 含まれ

、  
前記パラジウム塩及び前記オルガノアミンの少なくとも一部が、非晶質であるパラジウムオルガノアミン錯体を形成している、前記パラジウム前駆体組成物。

【請求項 2】

基板の上にパラジウム層を形成するためのプロセスであって、

パラジウム塩、オルガノアミン、および水不混和性の有機溶媒を含むパラジウム前駆体組成物を受容する工程と、

前記基板を前記パラジウム前駆体組成物で溶液コーティングする工程と、

前記パラジウム前駆体組成物を加熱し、パラジウム層を形成する工程と、を含み、

前記パラジウム塩が炭酸パラジウムであり、

前記オルガノアミンがオクチルアミン、ノニルアミン、又はデシルアミンであり、

前記パラジウム塩が前記パラジウム前駆体組成物に対して 5 重量% ~ 30 重量% 含まれ

、  
前記パラジウム塩及び前記オルガノアミンの少なくとも一部が、非晶質であるパラジウムオルガノアミン錯体を形成している、前記プロセス。

【請求項 3】

対象物の上に電気伝導性パラジウム層を形成するプロセスであって、

少なくとも 1 つのパラジウム塩、少なくとも 1 つのオルガノアミン、および少なくとも 1 つの水不混和性有機溶媒を含み、前記パラジウム塩及び前記オルガノアミンの少なくとも一部が、非晶質であるパラジウムオルガノアミン錯体を形成している、パラジウム前駆体溶液を受容する工程と、

前記対象物を前記パラジウム前駆体溶液で溶液コーティングし、前記対象物の上に非晶質コーティングを形成する工程と、

前記非晶質コーティングを加熱して、電気伝導性パラジウム層を形成する工程と、を含み、

前記パラジウム塩が炭酸パラジウムであり、

前記オルガノアミンがオクチルアミン又はデシルアミンであり、

前記パラジウム塩が前記パラジウム前駆体溶液に対して5重量%～30重量%含まれる、前記プロセス。